

ふゆにおすすめの本



『冬眠のひみつ』

PHP研究所 <481ト>



『雪の森のリサベット』

アストリッド・リンドグレン/作

石井 登志子/訳

徳間書店 <949リ>



『ホッキョクグマのブック』

あずみ虫/作

童心社 <Eア>



『ポコタのきのみ』

しもかわら ゆみ/作

世界文化ブックス <Eシ>



『ぼくのばしょなのに』

刀根 里衣/著

NHK出版 <Eト>



どの本よもうかな



2023年 冬号

東部図書館キャラクター
フックボン



ラッキーブックは
なにかな？

フックボンの

ラッキー☆うらない

ふゆにやりたいスポーツは、①～③のどれ？

①スキー ②スケート ③雪合戦

①をえらんだ人 ▶▶ 自分の決めたことに自信をもって。ラッキーナンバーは1。

ラッキーブック：雪が出てくる本

◆『ゆきのかたち』

ひさかたチャイルド <451ユ>



②をえらんだ人 ▶▶ すぐに結果が出ない時だよ。あせらずじっくり行動して。

ラッキーブック：寺・神社が出てくる本

◆『小梅の七つのお祝いに』 愛川 美也/著

講談社 <913ア>



③をえらんだ人 ▶▶ 悩んでいたことが解決するよ。ラッキーカラーは赤。

ラッキーブック：地球が出てくる本

◆『世界とであうえほん』 てづか あけみ/え

村田 ひろこ/ぶん・デザイン パイインターナショナル<Eテ>



えほん

『くまくん、はるまでおやすみなさい』

ブリッタ・テッケントラップ / 作・絵
石川 素子 / 訳 徳間書店 <Eテ>



あきがおわり、ふゆがやってきます。もりでは、くまのおやこがふゆごもりのじゅんびをはじめます。くまくんは、おともだちにおやすみなさいをいいにでかけました。あなぐまは「わたしもふゆごもり」、うさぎは「はるになったらまたあおうね」といいました。

やがてあたりはくらくなり、つめたいかぜがふいてきました。

しょうがっこうちゅうがくねん 小学校 中学年から

『ぼくのジユウな字』

春間 美幸 / 作
黒須 高嶺 / 絵 講談社 <913ハ>

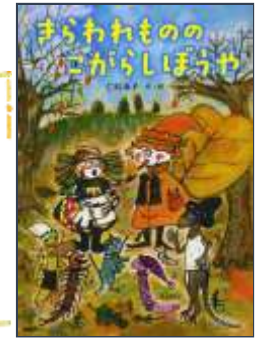


小学3年生の鷹野龍彦は、字を書くのが大嫌いな男の子です。ある日、学校から帰るとお母さんがげんかんで待ちかまえていました。先生の電話で、漢字テストの名前を書くらんにタクと略したのがバレたのです。一枚の紙きれをつきつけられ、地図を見ながら書道教室に行くことになりました。

しょうがっこうていがくねん 小学校 低学年から

『きらわれもののこがらしぼうや』

仁科 幸子 / 作・絵
PHP研究所 <913ニ>



北の国から大きなうちわをかついで、こがらしぼうやがやってきました。森のみんなが冬をむかえるために、せいっぱいお手伝いをします。ところが、野ネズミもアカリスもにげるようになくなりました。

すっかり元気をなくしたこがらしぼうやは、大きな洞窟で「きらわれもの」のみんなとであいました。

しょうがっこうこうがくねん 小学校 高学年から

『火星のライオン』

ジェニファー・L・ホルム / 作
もりうち すみこ / 訳 ほるぷ出版 <933ホ>



火星にあるアメリカ入植地には、11人とネコ1匹が住んでいました。5人の子どもたちは赤ちゃんの時に地球から来て、アメリカ入植地を出たことはありませんでした。

2091年のある日、なその病気でおとなたちが全員倒れてしまいました。元気な子どもたちは、助けを呼びにほかの入植地へ列車を動かします。